



# おともがわ

学校報 NO. 33

保護者版

令和4年12月2日

みんなで育む豊かな心・健やかな体・確かな学力

12月1日

## 県学習状況調査

# 日頃の学習の成果を確認！

昨日12月1日(木)、県内の全小学校において、「令和4年度秋田県学習状況調査」が行われました。この調査は、本県の小学校第4～6学年の子どもたちを対象に行われるものであり、我々教職員が子どもたち一人一人の学習内容の定着度等を把握し、学習指導の工夫改善を図りながら、子どもたちの学力向上に役立てることを趣旨としています。各学年の調査教科等は、次のとおりです。

- ・第4学年：国語、算数、理科、学習の意欲等に関するアンケート
- ・第5学年：国語、社会、算数、理科、学習の意欲等に関するアンケート
- ・第6学年：国語、社会、算数、理科、学習の意欲等に関するアンケート



内小の子どもたちは皆、真剣な表情で一つ一つの問題に向き合いながら、最後まであきらめずに取り組んでいました。

なお、この調査の結果は、来年1月下旬～2月上旬頃にまとまる予定です。結果がまとまりましたら、この学校報「おともがわ」でお知らせいたします。

## 来週は家庭学習強調週間

12月5日(月)～9日(金)

本校では、来週の一週間を「家庭学習強調週間」に位置づけて、子どもたち一人一人に自分自身の家庭学習の仕方を見直してもらう機会を設定しました。期間中の7日(水)と8日(木)は、全校の子どもたちの家庭学習ノートを一階チャレンジルームに展示し、友達や先輩のノートを学級担任と一緒に見ながら、担任の先生から家庭学習の模範例やポイントを説明してもらい、効果的な学習方法を学ぶ機会にしたいと考えています。

なお、12月8日(木)はPTA学習参観日になっておりますので、保護者の皆様にもご覧いただけます。ただ今、407冊に到達！



## 12月行事予定

- 5日(月) 委員会⑩、家庭学習強調習慣(～9日) レンタルスキー採寸(13:30～)
- 6日(火) ALT訪問 アウトメディアチャレンジ(～8日)
- 7日(水) 読み聞かせ(3年)、保健集会
- 8日(木) PTA学習参観日
- 9日(金) 福島市教職員視察団来校
- 12日(月) 読書集会(3校時)
- 13日(火) ALT訪問(午前)、フッ化物洗口
- 14日(水) 読み聞かせ(4年)、職員会議①
- 15日(木) 地区子ども会 ミニぼけっとさん読み聞かせ
- 16日(金) 5・6年FW(県立美術館等)
- 20日(火) 大清掃①(縦割り)
- 21日(水) 大清掃②(学年・靴棚)
- 22日(木) なかよし集会 器楽部ウインターコンサート
- 23日(金) 冬休み前集会(5校時)
- 26日(月) 冬季休業(～1月13日)
- 27日(火) 学校閉庁日(～1月4日)
- 31日(土) 大晦日



# スーパースター！内小っ子

## 秋の火災予防運動防火ポスターコンクール 優秀賞受賞！

おめでとう！○○○○さん



このたび、大曲消防署管内の「秋の火災予防運動防火ポスターコンクール」において、○○○○さん(4年)が見事優秀賞

に輝きました。

先日11月29日(火)に本校の校長室において、大曲消防署の○○○○署長さんから表彰状の授与が行われました。



### 令和4年度 人権標語コンテスト

【大曲人権擁護委員協議会長賞】  
○○ ○○○さん(5年)

世界みんな  
十人十色の たからもの

大仙市立内小友小学校5年 ○○○○○

今年度のコンテストには、大曲仙北地区の小学校29校から1,573編の応募があり、その中から優秀作品として、○○○さんの作品が選ばれました。

なお、ひよりさんの作品を含む入賞作品のパネル展が、下記の日程で開催されるそうです。この機会に是非ご覧ください。

- ・ 期間：令和4年11月30日(水) ~ 12月5日(月)の6日間
- ・ 会場：イオンモール大曲1階 エステール隣

第68回青少年読書感想文全国コンクール  
秋田県地方審査

○○○○○○さん(5年)の作品が  
最優秀賞に輝きました！

このたびの県審査により、○○○さんの作品が全国コンクールへ出品されることになりました。おめでとうございます。



第68回青少年読書感想文全国コンクール  
秋田県地方審査

小学校高学年の部・自由読書 最優秀賞作品

つながる思い

大仙市立内小友小学校5年  
○○ ○○○

ゆう便屋さんのバイクの音。コトン。ポストに音がひびいた。お母さん、気づいてくれるかな。この夏、お母さんあてにこっそり手紙を出しました。ありがとう、大好き  
の思いがお母さんをいやせるようにの願いをこめて。

手紙を書くことが好きな私にとって、「字のないはがき」の一さつは不思議なタイトルでした。字がないとはどういう意味だろう。絵はがきかな。クレヨンを使った力強いぬり方なのに、どこかさみしそうな色づかいの表紙にも心ひかれ、思わずこの本を買いました。

はげしさをます戦争の中で、小さな子どもたちを守るため行われた、そかい。家族とはなれ、しかも知らない土地でくらすなんて、五年生の私でも心がキュッとしめつけられます。戦争中の向田さんの家族。とうとう一番小さい妹も、そかいする日をむかえます。

そかい先に持っていくはだ着すべてにお母さんが名札をぬいつける場面。私には、それはまるで一まい一まいが手紙のように思えました。たから物のように子どもを思い、「はだ着だから、いつもギュッとくっついてるよ。だっこしているよ。がんばるのよ。」というメッセージのように思えたからです。

山もりのはがきを準備したお父さん。一まいずつ住所を書きながら、元気さと幸せを願ったにちがいありません。願いのこもったはがきはまるでお守りのようだと感じました。

私の学校では、文ぼう具を出し入れできる手作りのイスポケットというものを使います。一年生のある日、あるものを発見しました。それは、見えにくいうら側にぬいつけられたお母さんからのメッセージだったのです。

「フレ！フレ！○○○！勇気を出してがんばってね。おうえんだんより。」

はずかしがり屋の私のことをよく知っているお母さん。学校でもがんばれるように、「だいじょうぶ」の言葉をぬって来ていたのだと知りました。見つけたあの日もそして今も、ドキドキしたときは、ぬいつけられた手紙を思い出してがんばっています。

私の高祖父は、戦地で仲間の手当をする最中に敵弾を右むねに受け亡くなったそうです。遠のく意識の中、子どもたちに残した手紙。ききうででないにもかかわらず、力強く美しい文字が残されていてびっくりしました。

「立派に育てよ。」

いたみ、きょうふであふれていたはずなのに、最後の力を子どもたちの未来に向けた言葉に変えた高祖父は、私のほこりです。

家族の文字は不思議な力をもつと思います。はだ着を着るたびにお母さんを、はがきに書きこむたびにお父さんを思い出し、そかいと向きあっていたのだと思います。戦争中であっても平和であっても、大切な人と思う手紙はきずなをつないでくれるものです。けれど、やはり手紙は、平和の中で幸せを重ね合うものであってほしいと心から思います。

今日も、だれかを幸せにするやさしい手紙が、コトン、と幸せな音をたてますように。